

海外大学との共同学位（ジョイント・ディグリー）プログラム  
「名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻」の設置概要について

名古屋大学大学院生命農学研究科は、タイのカセサート大学農学部と共同で1つの大学院プログラム（名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻）を開設し、平成30年4月から学生を受け入れます。

なお、文部科学省への申請・審査を経て、平成29年11月9日付けで当該専攻の設置が認められました。

**【設置の目的】**

- ・長期にわたる研究・教育の交流を背景に、生命農学研究科が培ってきた先端的な研究をカセサート大学が有する広大な農林地での実証研究として展開する。異なる視点の研究の融合を通じて、東南アジア地域でしか得られない豊富な遺伝資源の利活用を図る。
- ・このような研究活動を通じて、学生を海外の学術環境、文化、システムの中で教育することにより、農学的な知識や様々な実験手法を習得するだけでなく、異文化適応能力や問題解決能力に優れた博士人材を養成する。
- ・ジョイント・ディグリープログラムの実施により、両大学の研究力及び教育力の国際的評価を獲得し、国際発信力と競争力の向上を図る。

**【新専攻の概要】**

研 究 科：大学院生命農学研究科

専 攻 名：名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻

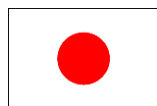
学 位：博士（農学）

入学定員：2名

**【期待できる効果】**

- ・農学分野でのQS ランキング 2017 第29位（東南アジア地域のトップ大学）の実績を誇るカセサート大学とのジョイント・ディグリーを実現することで、国際的俯瞰力、企画力、学術展開力を持った人材育成を行うことができる。
- ・カセサート大学との合同の学位授与の仕組みが、学位の国際的な質保証につながり、両大学の学位についても国際的評価の上昇が期待できる。
- ・博士課程の共同教育・研究が、研究室相互の深い交流に発展し、双方の研究レベルと国際的競争力の向上につながる。

# 名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻 (International Collaborative Program in Agricultural Sciences between Nagoya University and Kasetsart University) 設置について



大学院生命農学研究科

## 名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻 の設置目的

### (1) 設置の必要性

- ・特にアジアを中心とした国際的な農学研究の中での我が国の貢献(研究分野の動向・ニーズ)
- ・農業のグローバル化を背景とした農学分野における国際性豊かな人材の要請(社会・学生のニーズ)
- ・「アジアとともに学び、発展し、アジアのハブ大学に成長する」を農学分野で実現(本学の将来ビジョン)

### (2) 設置の目的

- ①カセサート大学との長期にわたる研究・教育の交流を背景に、生命農学研究科が培ってきた先端的な研究を、カセサート大学が有する370ヘクタールという広大な農林地での実証研究として展開する。異なる視点の研究の融合を通じて、東南アジア地域でしか得られない豊富な遺伝資源の利活用を図る。
- ②上記の研究活動を通じて、学生を海外の学術環境、文化、システムの中で教育することにより、農学的な知識やさまざまな実験技法を習得するだけでなく、異文化適応能力や問題解決能力を養い、国際的俯瞰力、企画力、学術展開力を兼ね備えた博士人材育成を行う。
- ③ジョイント・ディグリープログラムの実施により、両大学の研究力および教育力の国際的評価を獲得し、大学の国際発信力と競争力の向上を図る。

## カセサート大学について

- 1943年に創立されたバンコクを中心に4つのキャンパスをもつ国立大学で、チュラロンコン大学に次いでタイ王国全土で2番目に古い。
- 農学分野では最も古い歴史を有する(「カセサート」はタイ語で農学の意)。医学・化学分野の国立研究所(チュラポーン研究所)所長のチュラポーン王女の母校である。
- QS ranking 2017の農学分野では世界第29位、アジア地域では日本の2大学、中国の1大学に次いで4位にランキングされる東南アジア地域のトップ大学である。
- 2010年より国際化を強く推進しており、現在熱帯農学、バイオエネルギー、持続的農業の分野で大学院国際プログラムを展開している。

## 名古屋大学とカセサート大学との交流の歴史

- 名古屋大学とカセサート大学は1981年に大学間協定を結んでおり、名古屋大学としては3番目に交流の歴史が古い。
- 大学間国際コンソーシアムであるAcademic Consortium 21(AC21)のメンバーでもあり、現在も活発に交流を続けている。

# 関係組織図



大学院生命農学研究科



มหาวิทยาลัยเกษตรศาสตร์  
KASETSART UNIVERSITY

カセサート大学大学院（農学）

森林・環境資源科学専攻

植物生産科学専攻

動物科学専攻

応用生命科学専攻

動物科学コース

植物科学コース

植物保護学コース

天然資源・環境科学  
コース

農学科

動物科学科

昆虫学科

園芸学科

植物病理学科

土壌学科

# 入学から修了・学位取得までの流れ

**入試:** 合同入学審査委員会による審査

- ・英語能力 (IELTS, TOEFL)
- ・修士論文審査 (口頭・TV会議を含む)
- ・学力審査 (口頭・TV会議を含む)

入学定員: 2名  
(各大学1名ずつ)

**セミナー** (3回、兼中間審査)

: 1年次後期、2年次前・後期

- ・研究内容・研究計画の審査
- ・学力審査

**セミナー** (兼予備審査):

- ・研究内容と論文構成の審査
- ・研究成果発表状況の審査
- ・学力審査

**学位審査:** 合同学位審査委員会による審査

- ・博士論文審査 (口頭)
- ・学力審査 (口頭)
- ・学術論文発表 (または受理)

授業科目等

- ① 選択必修科目: 博士論文研究 48単位
- ② “Advanced Research Technologies in Agricultural Sciences I & II”
- ③ セミナー (4回):  
中間審査 (3回)・予備審査を兼ねる